

▶ 北海道札幌市

株式会社コメダ・株式会社東海企画

コメダ珈琲店 二十四軒店

贈呈
理由寒冷地の出店において、
ヒートポンプ蓄熱空調・給湯システムを標準採用

コメダ珈琲店 二十四軒店



コメダ珈琲店 二十四軒店の店内

業務用エコキュート
貯湯タンクエコ・アイスmini、パッケージエアコン、業務用エコ
キュート室外機全国で約800店舗を展開し、
今年で創業50周年を迎えた

株式会社コメダは、日本最大級の店舗数や売上高を誇るフルサービス型の喫茶店チェーン「コメダ珈琲店」の運営会社である。同社は、「私たちは珈琲を大切にする心からを通してお客さまにくつろぐ、いちばんいいところを提供します」

という経営理念のもと、フランチャイズ加盟店を中心に全国で803店舗（2018年7月末現在）を展開し、今年創業50周年を迎えた。

広い駐車スペースがある郊外型の店舗は、木のぬくもりを感じる山小屋風の造りでやすらぎを演出。間仕切りや大きめのソファで居心地の良さを追求した室内空間では、主力のコーヒーや看板メニューの「シロノワール」が人気となっている。

北海道地区においては2016年8月、旗艦となる直営店で札幌市に初進出を果たし、これまで8店舗（2018年7月末現在）を展開している。株式会社東海企画は、道内コメダ珈琲店を運営するフランチャイズ企業の一つだが、人気のカラオケ店などを運営してきたノウハウを活かし、清田北野店と二十

四軒店を展開。今夏には新琴似一番通店を出店した。

簡単な操作で快適空間を実現
する電化システムを採用

冬は雪が深く積もり、厳しい寒さが続く北海道への進出において、第1号店となった東札幌5条店では本州の郊外型店舗と同様、客席と厨房の空調に電気式ヒートポンプエアコン（EHP）、調理に業務用電化厨房、そして給湯にガス瞬間湯沸器を採用した。

一方、ちょうどその頃、北海道内に展開する別の飲食チェーンの店舗では、省エネルギーやランニングコスト低減の観点からヒートポンプのニーズがさらに高まり、給湯分野においてはメーカーが寒冷地仕様の業務用エコキュートをラインナップするなど、導入に向けた機運も高まりを見せていた。また、電力会社の営業による業務用オール電化割引の適用も相まって、第2号店となる清田北野店の計画において、本格的に業務用エコキュートの導入に向けた検討が行われることとなった。

業務用エコキュートを導入するうえで重要だったのが、実際の店舗における給湯の使用状況の把握だった。そこで、コメダ本社や現地店舗、工事会社などの協力により、電力会社が第1号店の給湯使用量や温度、ガス使用量な

どを実測し、給湯エネルギーを算出。ガス瞬間湯沸器と業務用エコキュートの経済性や省エネルギー性を比較検証した結果、北海道でも業務用エコキュートが有利となったことから、メーカー協力の下で機器選定を行い、清田北野店で初めて寒冷地仕様のエコキュートが採用された。

開店当初は想定以上の来店者による湯量不足が懸念されたものの、電力会社による事前シミュレーションに基づき、沸き上げパターンや出湯温度の設定を変更することでこれを解消。その後、店舗のオペレーションも軌道に乗り、今日に至るまで順調に営業している。

株式会社コメダは、株式会社東海企画をはじめとしたフランチャイズ企業と一丸となって、地域の特性にマッチした店舗開発を今後も推し進め、新たな出店のチャレンジを続けていく。

コメダ珈琲店 二十四軒店

所在地：北海道札幌市西区二十四軒3条2丁目1番8号
建築設計：関口建築計画
建築施工：大和リース㈱ 札幌支店
延床面積：252.30㎡
竣工：2017年10月新設

■ 設備概要

エコ・アイスmini 5HP相当×1台【ダイキン工業】
パッケージエアコン 8kW×3台
パッケージエアコン 11.2kW×3台
パッケージエアコン 16kW×3台
業務用エコキュート 15kW×1台【ダイキン工業】
貯湯タンク 460L×1台

商業施設
飲食店舗エコ・アイス
mini

ヒートポンプ給湯